

プレスリリース

2016年 1月 28日

三重県

国立研究開発法人防災科学技術研究所

国立研究開発法人海洋研究開発機構

伊勢志摩サミットを契機としたDONETの活用にかかる「三重県」と「国立研究開発法人防災科学技術研究所」及び「国立研究開発法人海洋研究開発機構」との協力協定を締結します

三重県、国立研究開発法人防災科学技術研究所（以下「防災科研」という。）、国立研究開発法人海洋研究開発機構（以下「JAMSTEC」という。）は、三重県が防災科研及びJAMSTECの協力を得て、地震・津波観測監視システムを用いた津波予測・伝達システムの導入を進め、伊勢志摩サミット開催地の安全・安心を高めるための取組に活用するとともに、これを契機とした、システムの三重県南部地域の防災・減災対策への水平展開及び地域住民の防災意識の向上に資する活動などに取り組むため、また、これら一連の取組を通じた調査・研究によりシステムのさらなる高度化を図るため、三者による協力協定を締結します。また、本取組にあわせて新たに設置した、三重県地震・津波対策アドバイザーの委嘱を行います。

詳細は[三重県サイト](#)をご覧ください。

国立研究開発法人海洋研究開発機構

広報部 報道課長 野口 剛